

第 24 回優秀会社史賞 入賞作品 受賞のことば

## 『トクヤマ百年史』

このたびは、第 24 回「優秀会社史賞」に選出いただき、誠にありがとうございました。

当社は 1918 年 2 月、大阪の貿易商岩井商店の店主 岩井勝次郎が、第一次世界大戦で輸入が困難になったソーダ灰を生産するために山口県徳山で設立しました。当初はソーダ専門メーカーでしたが、その後、無機総合化学、昭和 40 年代には石油化学、平成に入ると多結晶シリコンを中心とした電子材料分野へと事業を拡大してまいりました。

百年史の編纂は 2013 年に開始し、創立 100 周年にあたる 2018 年発刊を目指して進めましたが、2015 年のマレーシア事業の失敗による経営危機により中断しました。その間、スタッフは資料収集や整理、OB への取材を行い、2017 年 8 月に経営状況が改善したことから編纂作業を再開、中期経営計画「再生の礎」の完了年である 2021 年 3 月末までの歴史をまとめ、2022 年 3 月に刊行しました。

編纂にあたっては、トクヤマ 100 年の歴史を事実に基づきまとめることで、「トクヤマの企業文化を明らかにし、その良い点を次世代に継承する」「歴史を歪曲することなく正しく伝えることで経営のナレッジとして蓄積するとともに今後の経営、仕事の指針となす」ことを目的とし、歴史を築かれた諸先輩への感謝と、次の 100 年を目指すトクヤマの決意を込めました。正史は当社の歩みを 1 冊で理解できるように徳山曹達 70 年史と近 30 年史の形でまとめ、記述が薄い部分は再構成しました。編纂作業を通じて多くの示唆に満ちた史実を発見し、良いことばかりでなく撤退事業の詳細も検証し、次世代に継承できるようにしました。資料編では、財務資料だけでなく、ベース技術とその応用製品を体系的にまとめました。

百年史の最後にも記していますが、100 周年はゴールではなく、次の 100 年へのスタートでもあります。弊社のスローガンである「もっと未来の人のために」の実現に向けて、たゆまぬ努力を続けてまいります。

改めまして、優秀会社史賞に選んで頂き感謝申し上げます。

代表取締役 社長執行役員  
横田 浩

